体系的な人材育成システムの充実・強化

- 防災に関する幅広い経験や専門知識、関係者間のコーディネート力を有する**行政職員や民間人材など体系的な防災人材の育成を行う。**
- **防災人材に関するデータベースの作成や、実践的な訓練等の推進により、関係機関が連携し、災害対応に臨む体制を構築する。**

現状・課題

○災害対応にあたっては、産官学民のあらゆる力を結集する必要があり、そのためにはデジタル防災技術・先端科学技術やシミュレーション結果の活用、多様な関係機関の連携、さらには防災に関する幅広い経験や専門知識を有し、多様な関係者間のコーディネート力を有する防災人材が求められている。

○国・地方自治体等の職員を対象に、危機事態に迅速・的確に対応し、国・地方のネットワーク形成を担える防災人材を育成するため、「防災スペシャリスト養成」研修を実施。（令和7年度末までにのべ約17,000名が受講）

○また、災害発生時に防災関係機関が一体となって迅速・的確に対応するため、総合防災訓練大綱に基づき、各種訓練を実施。

施策の方向性

R8

- 「防災スペシャリスト養成」研修（有明の丘研修等）
- 総合防災訓練（政府本部運営訓練等）
- 緊急災害現地対策本部運営訓練
- 地震・津波防災訓練、孤立集落防災訓練

防災庁設置

- 防災大学校（仮称）設置の検討開始

R9

- 関係機関と連携した道路啓開に係る調整等、実践的な訓練
- 先端技術を活用した研修・訓練
- 防災人材データベースの検討

R10～

- 体系的な人材育成システムの構築
- 防災人材データベースの構築

体系的な人材育成システムの充実・強化

「防災スペシャリスト養成」有明の丘研修 コース一覧

	コース名
①防災基礎	
災害対策	②災害への備え
	③警報避難
	④応急活動・資源管理
	⑤被災者支援
	⑥復旧・復興
組織運営	⑦指揮統制
	⑧対策立案
	⑨人材育成
	⑩総合監理

職位区分	災害時の役割の例
実務担当	災害対応組織の**班員**、関係部局からの**支援要員**、等
一般管理	災害対応組織の**班長**、等
上級管理	災害対策本部**副本部長**、**危機管理監**、**本部員**、等



有明の丘研修



政府本部運営訓練



緊急災害現地対策本部運営訓練



九都県市合同防災訓練（神奈川県）

目指すべき姿

○産官学民の防災人材がそれぞれ専門知識を活かしたうえで連携し、一体となって力を結集することにより、我が国全体の災害対応力の底上げを図り、徹底的な事前防災の推進、円滑かつ迅速な災害対応、早期の復旧・より良い復興を実現。